

令和8年度京都ジュニアチャレンジスイムミート・京都府ジュニア泳力向上チャレンジレース 二次要項
(一社) 京都水泳協会競技委員会

1. インフルエンザ、新型コロナウイルス等感染症対策について

- (1) 当日体調がすぐれない場合は来館しないこと。
- (2) 会場アリーナ内および控え場所への立ち入りは出場する選手、引率責任者および学校が認めたコーチ、競技役員のみ許可する。
- (3) 保護者等一般来場者の入場及び応援は、3階観客席のみ認める。
※一般来場者入場は競技開始30分前(8時30分)から順次行う。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2026年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
ただし、ジュニア泳力向上チャレンジレース出場者には上記競技規則に準じて実施する。
- (2) 競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
- (3) 全競技、タイムレース決勝にて実施する。
- (4) 全競技、10レーンで行う(レーン設定は0～9レーンとする)。
- (5) 招集は、競技開始20分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。
なお、ジュニア泳力向上チャレンジレース出場者は水着の規定は問わない。
- (6) 競技を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の午前9時15分までに大会本部に届け出ること。
時間を過ぎた場合は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、3,000円を別途徴収する。
- (7) 全競技、レーン紹介を行う。リレー種目はチーム名のみ紹介する。
- (8) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9) 50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (10) 背泳ぎにおいて、バックストロークレッジを使用できる。
- (11) 競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (12) 本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「9. SEIKO システムについて」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 表彰式を実施する。
- (2) 公認区分の個人種目各競技3位までの入賞者には、賞状と副賞のメダルを授与する。
- (3) 非公認区分の各クラス各競技3位までの入賞者には、副賞のメダルを授与する。
- (4) 賞状の受け取りは、競技終了後、大会本部(記録室横の大会本部室)付近通路で行う。

4. 全体スケジュール

- (1) 全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	区分	出場選手 入場時間	W-up (メイン P)	公式スタート	競技 開始時刻	競技終了 予定時刻	閉門時刻 (予定)
9月20日(日)	全区分	7時10分	7:20～8:45	8:10～8:40	9時00分	18時45分	19時30分

- ①メインプールのウォーミングアップは朝の1回のみ実施する。
 - ②場所取りは全チームを対象として行う。場所取り入場後、開場(選手入場)する。
※場所取りは1名のみとする。
 - ③飛込プールのウォーミングアップは、メインプール練習終了後(8時45分)より競技終了後15分間までとする。
- (2) 競技役員主任ミーティング、控え場所の場所取り入場時刻はそれぞれ以下の通りとする。

日時	場所取り 入場	競技役員 受付	競技役員 主任会議	競技役員 全体会議	競技役員 パート別会議	メドレーリレー オーダー締切	フリーリレー オーダー締切
9月20日(日)	7時00分	～8時00分	8時10分	8時25分	8時40分	8時30分	13時30分

※全体会議は競技役員控室(飛込プール前)で行う。

※パート別会議場所は次の通りとする。 折返監察員:競技役員控室(飛込プール)前、計時員:採暖室前、
招集員:招集所(ウッドデッキ)、賞典:表彰者待機所(本部役員室前)付近

- (3) 開門に先立ち、控え場所の場所取りは各チーム代表者(コーチ等)1名のみ、2階正面入口(阪急西京極駅方

面のスロープ側)からの整列入場を行う。なお、入場整理員の指示には必ず従うこと。

5. プールの使用について

(1) 50m長水路プール

- ①水深は1.4mに設定する。
- ②練習は競技開始15分前までとする。
- ③0レーンは、アップ開始時刻よりダッシュレーンとする。ただし、スタート側からの一方通行とする。
公式スタート練習は、0～3レーンにて実施する(人数により、順次4レーン以上を増設する場合がある)。
なお、公式スタート練習時0レーンをAクラス、チャレンジレース出場者専用レーンとする。
- ④8レーンはアップ開始時刻よりダッシュレーンとする。ただし、ターン側からの一方通行とする。
- ⑤9レーンはチャレンジレース出場者専用レーンとする(公認区分出場者は使用しないこと)。

レーン	通常	公式スタート練習の時間帯
0レーン	ダッシュ専用レーン ※スタート側からの一方通行	公式スタート練習レーン ※Aクラス、チャレンジレース出場者専用
1レーン	通常練習レーン	公式スタートレーン ※全クラス対象
2～3レーン	通常練習レーン	公式スタートレーン ※Cクラス以上
4～7レーン	通常練習レーン	通常練習レーン ※公式スタートレーンになる場合あり
8レーン	ダッシュ専用レーン ※ターン側からの一方通行	ダッシュ専用レーン ※ターン側からの一方通行
9レーン	チャレンジレース出場者 専用レーン	通常練習レーン ※チャレンジレース出場者専用

- ⑤スタート側ダッシュ・公式スタートの順番待ちは、0レーン側プールサイドからの1列とする。
 - ⑥ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ⑦練習時、右側から入水せず、左側より足から入水すること。
- ### (2) 飛込プール
- ①水深は5m(固定)になっている。
 - ②練習は競技開始(9時00分)より競技終了後15分間までとする。
 - ③練習用のため、スタート練習(飛び込み)は禁止する。また練習目的外での使用、他の選手の妨害行為は厳禁とする。
 - ④チャレンジレース出場者が利用する場合は、水深が非常に深く危険なためコーチが必ず付き添うこと。

6. 会場の使用について

- (1) 1階、2階は選手、監督、コーチのみ入ることができる。また、2階スタンドは所属チームの服を着ている選手、監督、コーチのみ使用することができる。選手控え所は、メインプール2階スタンド及び後方通路とする。
※公認・非公認区分の区別は行わないが、過度な占有を避け、譲り合って使用すること。
- (2) 3階は保護者等一般来場者が使用する。選手、監督、コーチは控え場所として3階スタンド及び後方通路を使用できない。
- (3) 選手・付添の応援エリアは、1階アリーナ内には設置しない。
- (4) 9レーン側プールサイドにコーチ席を設置する。
9レーン側プールサイドでの応援は禁止する。また、プール内階段での応援も禁止する。
- (5) プールサイドは、**靴底が白い上履き(スリッパを含む)に限り使用を許可**する。大会役員・競技役員および引率責任者、コーチ(19歳以上に限る)の他、選手も対象とする。※**外靴の使用は厳禁**とする。
- (6) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。
- (7) 更衣室のロッカーの使用はできない。会話及び控え場所としての使用、飲食は禁止する。
- (8) 更衣室の荷物は、更衣として使用後は必ず持ち帰ること。
※置き荷物は、忘れ物として扱う。(忘れ物は、大会本部にて一定期間保管する。)
- (9) 会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。

- (10) 会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。
- (11) 大会終了後、使用した控え場所を清掃すること。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。
- (12) 大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。
- (13) 京都アクアリーナの営業開始時間(9:00)より前の、1階フロアへの立ち入りとその階のトイレの使用並びにエレベーターの使用を禁止する。同時間までのトイレは、メインプールにあるトイレを使用すること。

7. 注意事項

- (1) 盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。
- (2) 競技役員用の駐車場は、競技役員として出席し、事前に許可された関係車両のみとする。なお、駐車の際は駐車許可証を外部より確認できる位置に置くことを条件とする。駐車許可証のない車両があった場合は、当該関係団体への指導を行う。 ※出場団体のバスでの来場・駐車については認めない。
- (3) 会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。

8. 保護者等への注意事項の連絡について

- (1) 出場団体の責任者は、以下の点を事前に選手・保護者等に連絡すること。
 - ① 選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。
 - ② ハンカチ、手荷物などでの席の場所取りは禁止とする(立ち見ゾーンを含む)。
 - ③ 危険防止のため、3階観客席前方の透明フェンスに寄りかかったの観戦を禁止すること。
 - ④ 当日、自動車等で会場周辺に駐車して待機しないこと。
- (2) 盗撮、不審者対応について
各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。
 - ① 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めるとする。
事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
 - ② 不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

出場する選手が安心して競技に集中できる環境に向けた対応を行っております。

ベストタイムをねらっている選手、全国大会標準記録の突破を目標としている選手など、それぞれの目標に向かって泳いでいる選手が競技以外のことで集中できない環境になった場合の被害者は、選手自身です。

また、競技中に撮影許可ビブスの注意に関する会場アナウンスを行うことで、直後の競技に臨む選手の集中力を削ぐことにもなります。

このため、ビブスを手で持っていたり、カバンに入れているだけではなく、**外見でわかるように着用**して撮影をしてください。

(3) 撮影にあたって

- ① 本大会は、撮影時には撮影許可ビブスの着用が必要となります。撮影許可ビブスは登録団体への販売のみとし、撮影を希望する個人への販売は行いません。撮影を希望される場合は、出場するチーム代表者に問い合わせをしてください。
- ② 京都府内の登録団体については、当日のみ有効の撮影許可ビ布斯(貸し出し用)は発行しません。
- ③ 京都府外の登録団体については、申込時に事前申請のあった撮影許可証数を別途発行します。引渡しについては出場チーム代表者または引率責任者のみ行えるものとし、受付にて受領申請した上で、事前申請数分をクラブ代表者に渡すものとします。なお、個人からの申請は受付しません。
※この際、預り金として1団体につき一律3,000円を預けること(発行全枚数返却時に返金する)。
※有効期間は、当日(1日)限りです。競技終了後20分以内までに、チーム責任者が必ずご返却下さい。

9. SEIKO システムについて

- (1) SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。
- (2) スタート台の斜角度は10° とする。
- (3) スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。
なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。

- (4)スターティングブロック部分の固定は確実に行うこと。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。
- (5)本大会は、バックストロークレッジを使用する。使用しない場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

10. 結果速報・動画配信について

- (1)本大会では、結果配信システム(Live Results Swimming: LRS)を運用する。LRS で確認すること。
- (2)本大会はリアルタイム動画配信システム(YouTube Live)の配信を行わない。

11. 引率責任者、競技役員への連絡事項

- (1)会場準備のための入場および競技役員用駐車場への入場は、6時30分以降とする。それ以前に周辺道路で待機しないこと。
- (2)長水路・短水路プール間～北側スロープ(阪急西京極駅方面スロープ)の部分とする。
※スロープ走行時は歩行者の飛び出しに注意し、最徐行すること(特に屋上付近は見通しが悪いため注意すること)。
- (3)場所の関係上、車両台数に制限があるため、駐車許可証を提示した車両のみ許可する。駐車許可証を掲示しない車両は駐車を認めない。
※駐車許可証は、京都水泳協会、京都府中・高体連水泳専門部が発行する本年度有効の許可証とする。
なお、台数制限があるため、入り口にて担当者が不許可とする場合もあります。
※許可対象は競技役員のため、チーム引率車両に対する許可は行わない。
※他府県出場チームは、競技役員にあたっても役員用駐車場の利用を許可しない。

上記項目についての選手への事前指導、保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以 上